

同時
通訳

Webinar HPVワクチン

～積極的勧奨再開を迎えて～

Cervical Cancer Elimination-子宮頸がんの根絶のための行動をWHOは2018年に呼びかけました。子宮頸がんを排除するためには徹底的な検診とHPVワクチンの接種が求められます。日本はようやくHPVワクチンの積極的勧奨の再開を迎えることとなり、子宮頸がんの根絶に向けて大きな1歩を踏み出すこととなります。子宮頸がん検診とHPVワクチン、この両輪が動き出す日本の未来を、海外の経験から一緒に考えていきませんか。

参加無料

[日時] ▶▶▶ 2022年 3月5日(土) 17:00～19:00

講演1

世界におけるHPVワクチンの現状と普及

講師：Dr Paul Bloem
Senior Immunization Officer WHO Geneva

講演2

オーストラリアにおけるHPVワクチンの現状と効果

講師：Prof Julia Brotherton
Australian Centre for the Prevention of Cervical Cancer,
University of Melbourne

講演3

日本におけるHPVワクチンの現状と課題

講師：Dr Sharon J.B. Hanley
北海道大学環境健康科学研究教育センター

ディスカッション

司会：小林絵里子 富山県立大学看護学部 講師
指定発言：阿南理恵（子宮頸がんサバイバー）
赤羽宏基（WHO）
鈴木幸子（埼玉県立大学）

申し込み

- ・ URL : <https://forms.gle/1w9zt2uftNarFFkG9>
- ・ 問い合わせ 富山県立大学 工藤里香 kudo-r@pu-toyama.ac.jp



【主催】 富山県立大学母性看護学講座 北海道大学環境健康科学研究教育センター
【共催】 一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会
【後援】 富山県 富山市 富山県教育委員会

科研費
KAKENHI

* 本講演会はJSPS科研費20H040021の助成を受けたものです。